

学校関係者評価委員会 25年度 評価結果報告

日産京都自動車大学校 学校関係者評価委員会

1. 開催日時

2026年6月25日（木）10:00～12:00

2. 開催場所

日産京都自動車大学校 校舎棟1階セミナーA教室

3. 委員

【学外委員（自動車整備領域）】

NO	区分	氏名	備 考	
1	団体代表	矢川 賢治 様	（社）京都自動車整備振興会 専務理事	
2	企業代表	三浦 直也 様	日産プリンス三重販売（株） 代表取締役社長	事前に資料にて確認、意見をいただいた。
3	企業代表	山形 正典 様	日産大阪販売（株） 執行役員	
4	高校代表	中森 耕平 様	京都府立田辺高校 第三学年部 副部長	事前に資料にて確認、意見をいただいた。
5	卒業生代表	西村 剛 様	正和自動車販売（株） 会長	

【学外委員（車体整備領域）】

NO	区分	氏 名	備 考	
1	団体代表	坂田 博則 様	京都府自動車車体整備協同組合 事務局長	
2	企業代表	藤本 正昭 様	日産大阪販売株式会社 BP事業部部長	事前に資料にて確認、意見をいただいた。
	企業代表	内藤 和典 様	日産大阪販売（株） BP事業部 次長	藤本様欠席により、代理として出席いただいた。
3	卒業生代表	安達 耕太 様	日産大阪販売（株） BR羽曳野工場 係長	

【学内委員】

NO	役職	氏名	備 考	
1	学校長	松川 健一		
2	教頭	鳥井 英雄	教育部	都合により欠席
3	課長	吉澤 英行	学務部総務課	
4	課長	橋本 健	学務部広報課	
5	課長	清水 昭一	教育部自動車課	
6	課長	大村 哲嗣	教育部車体課・一級課	
7	課長代理	稲 和樹	教育部自動車課	
8	課長代理	佐藤 友彦	教育部自動車課	
9	課長代理	井上 恵太	教育部自動車課（国際科）	
10	課長代理	遠藤 博之	教育部一級課	
11	課長代理	民野 武史	教育部車体課	
12	課長代理	当麻 範嗣	教育部教務課	
13		田中 幸子	教育部教務課	記録係

4. 議題

- 1) 校長挨拶
- 2) メンバー紹介（評価委員、学校事務局）
- 3) 2025年度の活動振り返り
- 4) 意見交換

5. 議論

- 1) 概況： 今回は、FY25の様々な取組結果についてご理解を頂き、また、各委員から貴重な意見・示唆を頂くことができた。これを基に、課題に取り組んでいく。
- 2) 項目別評価と主な意見、及び それに対する学校の受止め

承認	基準	項目	主な意見
承認	1. 教育理念・目標	主な課題	・予定の募集員数に至っていない【既存の策・レベルでは、整備士志望の低迷に追いつかない】
		主な意見	・11月に整備技能グランプリがあるので、見学してはどうか。実践の整備を見ることで刺激になるのでは。（矢川委員） ・ショッピングモールなどで小中学生でもできるリベア体験（自車のドアレバーなどの小傷を拭いて消す）イベントの実施で早いうちから興味を持ってもらう（安達委員）
		意見の受止め	・社会貢献の一環で、小中学校の生徒のみなさんを対象に、就業体験をはじめとしたクルマの魅力を発信している。みなさんのご意見からも継続していきたい。
承認	2. 学校運営	主な課題	特になし
		主な意見	特になし
		意見の受止め	—
承認	3. 教育活動	主な課題	・令和8年第2回登録試験より2級整備士（総合）試験がはじまる。過去問題が使えないものがあったり、新規の 카테고리（HEV、EV、カメラ、二輪等）の問題を対策しないといけない。 ・登録試験対策学習シートも沿った内容に改訂する必要がある。 ・留学生は、専門用語や特有の表現の理解が難しい。
		主な意見	・教材が大事。テキストだけでは、理解が進まないと思う。販売会社でも二輪車の車検がある。四輪車とは違う部分があるので、受け入れが難しい。できる人がいれば販売会社としては、収益につながるかも。（西村委員）
		意見の受止め	・2級整備士試験（総合）の学習に向けて、対策問題を教員が作っている。 ・二輪車については、他メーカー校を見学させてもらい、意見交換等行っている。 ・（留学生）日本語を読む力、書く力の向上を目指す。JLPT（日本語能力検定）7月5日受験にむけて授業を進めている。 ・国際オートメカニク科の3年生は10月に登録試験（国家2級整備士）を受験するので、100%合格を目指す。
承認	4. 学修成果	主な課題	・二級補習運営において、早期補習を行い、余裕をもって試験に挑むことができた。25年度では、2級整備士（ガソリン・ジーゼル）、一級小型、車体整備士を受験した全員が合格した（完全合格）
		主な意見	特になし
		意見の受止め	—
承認	5. 学生支援	主な課題	・学生の就職意欲に差があるため、従来通り就職先選択の重要性等継続指導していく。企業と連携して職業観を持たせる。個社の情報をいただき、選択肢を増やす。 ・入学前から精神面で課題を持った学生が多くなっている。高校や保護者から聞き取りを実施し事前に情報を入手、適切に対応できるようにする。 ・特性を持った学生は、学生指導だけではカバーしきれないので、スクールカウンセラーにつなぐことにより、少しでも理解し、配慮を実施している。
		主な意見	・就職先からの評判。留学生はやはり言葉の問題がある。企業側も受け入れる準備が必要。留学生は積極的に受け入れたい。BPを希望する人は少ない。母国で板金の経験がある人がおり、技術力がある。整備で入社してBPに異動する道がある。（山形委員）
		意見の受止め	
承認	6. 教育環境	主な課題	特になし
		主な意見	特になし
		意見の受止め	—

承認	7. 学生募集 ・受入	主な課題	・日本人の募集が減少している。留学生と割合が逆転する結果となった。留学生については自動車整備人気は2026年度についても加速している。
		主な意見	・楽しい学校なのになぜ入学生が少ないのか。自分たちの手で直せる魅力をもっとアピールできないか？（安達委員）
		意見の 受止め	—
承認	8. 財務	主な課題	特になし
		主な意見	特になし
		意見の 受止め	—
承認	9. 法令等の遵守	主な課題	特になし
		主な意見	特になし
		意見の 受止め	—
承認	10. 社会貢献	主な課題	BPの現場は高齢化している。若い人が少ない。留学生でも就職してほしいが、受け入れ(環境)が整っていない。（坂田委員）
		主な意見	特になし
		意見の 受止め	—
承認	11. 国際交流	主な課題	特になし
		主な意見	特になし
		意見の 受止め	—